



令和4年度 こうちこどもファンド 事業報告書



こうちし
高知市



【目次】

1	令和4年度事業スケジュール	1
2	助成を決定する審査員等	2
3	公開審査会	3
4	助成団体の活動	5
5	活動発表会・こうちこどもファンドフォーラム	6
6	事業成果報告	7
7	令和4年度高知市子どもまちづくり基金実績	37
8	今後に向けて	38
9	こうちこどもファンドフォーラム概要	39
10	こうちこどもファンドフォーラムプログラム	43
11	こどもファンド10年の取り組みと成果等の紹介	43
12	わくわくトークタイム	44
13	参加者名簿	68
14	高知市まちづくり活動検討委員会委員名簿	69

【資料編】

- ・高知市子どもまちづくり基金条例
- ・高知市子どもまちづくり基金助成金交付要綱
- ・令和4年度活動発表会アンケート結果
- ・寄附者一覧表
- ・「こどもファンド通信」第37号（令和4年5月発行）
- ・「こどもファンド通信」第38号（令和4年8月発行）
- ・「こどもファンド通信」第39号（令和4年12月発行）
- ・「こどもファンド通信」第40号（令和5年2月発行）

ごあいさつ

子どもたちが自ら高知のまちについて関心を持つきっかけとなり、「高知をもっと好きになってもらいたい」「高知で生まれ育ったことを誇りに思ってもらいたい」という思いで始めた「こうちこどもファンド」は、市民の皆様のご協力や、企業・団体・個人の皆様からのご賛同をいただき、制度開始から11年目を迎えることができました。

この間に、こどもファンドの活動経験者や、こども審査員経験者が、大人になり、令和4年度の活動発表会では、こども審査員経験者の皆さんに司会や、運営スタッフとしてお手伝いをいただき、引き続きこうちこどもファンドや、まちづくりに関わっていく方々も増えてきました。このことは、これまでこうちこどもファンドがめざしてきたことが間違っていなかったこと、そして将来の高知のまちづくりへの大きな希望を持てることとして、大変嬉しい気持ちです。

令和4年度は7団体の助成が決定しました。助成団体の子どもたちは、コロナ禍の影響を受けながらも、それぞれ工夫しながら、防災・清掃・動物と人間が共生できるまちづくりなど様々な分野のまちづくり活動に取り組んでくださいました。公開審査会で助成が決定してから約8か月間の活動の中で、子どもたちは地域内外の方たちとの連携や交流を行うなど、普段の生活では味わえない様々な経験を積んできたと思います。子どもたちには、この経験をもとに、これからもまちづくりに関心を持ち続けていただければと思います。

さて、昨年度は高知市まちづくり活動検討委員会の委員の皆さまより、次の10年に向けた提言をいただきました。次の10年も、多くの子どもたちが活動しやすく、市民の皆さんも関わっていけるよう、こどもファンド経験者の皆さんと力を合わせて運営することで、これからも子どもたちのまちづくり活動を応援し、「子どもにやさしいまち・高知市」を実現していきたいと考えております。

最後になりますが、まちづくり活動に取り組んだ子どもたちの今後の活躍に期待するとともに、制度創設から携わっていただいております卯月先生、また制度の運営に関しまして重要な役割を担っていただいておりますこども審査員及び大人審査員の皆様、こどもファンドアドバイザー、こども審査員サポーター、そして活動を応援していただいた皆様に感謝を申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。



高知市長 岡崎 誠也

1 令和4年度事業スケジュール

	運営等	広報等
4月	11日 事前説明会 (会場：市民活動サポートセンター)	
5月	10日 助成事業応募締め切り	こどもファンド通信(第37号)発行
6月	11日 事前研修会・事前審査会(こども審査員) 19日 公開審査会 (会場：南部健康福祉センター)	
7月		
8月	助成団体の活動期間	こどもファンド通信(第38号)発行 令和4年度公開審査会報告書発行
9月		
10月		
11月		
12月		こどもファンド通信(第39号)発行
4年1月		事業募集チラシ配布(随時)
2月		こどもファンド通信(第40号)発行
3月	18日 活動発表会 こうちこどもファンドフォーラム (会場：総合あんしんセンター)	<ul style="list-style-type: none"> ・第12期こども審査員募集の周知 ・市内近隣小中高校等へ、事業募集及び第12期こども審査員募集及びこうちこどもファンドフォーラム案内ちらしの配布

2 助成を決定する審査員等

(1) 審査員について

こうちこどもファンドの審査は、「大人審査員」と「こども審査員」が一緒に行います。大人審査員は、学識経験者・民間企業関係者・まちづくり活動関係者・行政などの分野からなる7名で構成されています。こども審査員は1年ごとに募集しており、令和4年度の第11期こども審査員は、小学校4年生から高校3年生までの8名で構成されました。こども審査員は、審査会の1週間前に「事前研修会・事前審査会」を行い、公開審査会に向けて準備を行いました。

○事前研修会

こうちこどもファンドの事業趣旨を学ぶとともに、自分たちが審査する時のポイント（審査項目）を話し合い、決定しました。その際、こどもたちが活発な議論ができるよう「こども審査員サポーター」にサポートしていただきました。また、公開審査会当日にも、こども審査員を支援する役割を担っていただきました。

○事前審査会

応募グループから出された申請書の内容について、大人・こども審査員が情報を共有しました。

(2) 申請団体側のサポートについて

「こどもファンドアドバイザー」に、①こどもファンドへ応募するまでの企画を検討するとき②応募後、公開審査会での発表方法を考えるとき③助成決定後の活動時の3段階におけるアドバイスを行っていただきました。

こども審査員（8名）

宇賀 みくる（小高坂小学校4年）、岡崎 倫太郎（高知小学校5年）、高橋 奏（国際中学校1年）、古谷 愛夏（高知学芸中学校2年）、山本 稜平（附属中学校3年）、増田 光祥（高知高校1年）、青木 晴楓（土佐塾高校2年）、竹崎 千紘（高知小津高校3年）

大人審査委員（7名）

審査委員長・卯月 盛夫（早稲田大学社会科学部・社会科学総合学術院教授）、審査副委員長・野村美尋（谷本物流（株）取締役）、梶 英樹（高知大学地域連携推進センター地域コーディネーター講師）、尾崎 昭仁（特定非営利活動法人 NPO 高知市民会議プロジェクトマネージャー）、森岡 千晴（高知県青年団協議会 監事）、松下 整（市教育長）、谷脇 禎哉（市市民協働部長）

サポート役（2名）

こども審査員サポーター 宮田 純子（市教育委員会学校教育課 指導主事）、
こどもファンドアドバイザー 畠中 洋行

※役職・学年等は、令和5年3月31日時点のものです。

3 公開審査会

こうちこどもファンド公開審査会スケジュール

日時：令和4年6月19日（日）13時00分～

会場：高知市南部健康センター 2階ホール



13:00	こどもファンド公開審査会 開会
13:10～	公開プレゼンテーション 応募団体が3分以内で発表します。その後、審査員と応募団体との間で、5分以内で質疑応答（審査員からの質問に応募団体が回答）を行います。
14:30～	休憩 休憩時間の中に、こども審査員が一次審査を行います。
14:40～	審査員による公開協議 こども審査員の一次判断の結果をもとに、審査員が公開で話し合いを行います。 そのなかで、審査員からもう少し質問があるというグループに対して、再度質疑応答を行い、最終判断となります。
15:25～	休憩 休憩時間の中に、こども審査員が最終判断を行います。
15:35～	審査結果発表
15:45～	こども審査員からの感想発表
15:55～	審査委員長からの講評
16:00	閉会



(1) 審査の流れ

- ①助成申請した活動内容について、応募団体がプレゼンテーションを行います。（持ち時間3分間）
- ②各応募団体のプレゼンテーションが終了するごとに、審査員との質疑応答の時間を設けます。（5分間）
- ③公開プレゼンテーションと質疑応答の結果をふまえ、こども審査員が、各応募事業について「いいね!」「もう少し質問がある」「もうちょっと!」のいずれの項目に該当するか、一次判断を行います。
- ④一次判断の結果をもとに、助成をするかしないか、こども審査員と大人審査員が、公開で審議を行います。「もう少し質問がある」「もうちょっと!」にシールが貼られている団体に対して、審査員から再度、質疑応答の時間を設けます。
- ⑤公開での審議後、こども審査員が、助成するかしないかについての最終判断を行い、こども審査員の過半数以上が助成すると判断した場合に助成が決定します。



(2) 審査結果

申請団体 8 団体のうち、7 団体に助成決定されました。

（当日はこども審査員 7 名中 1 名が欠席だったため、4 名以上で採択）

助成団体	助成金額	得票数
未来をかえ隊	200,000	6
Mteens	200,000	7
Diff érent	200,000	6
旭っ子記者クラブ	200,000	7
土佐女子おれんじ flowers	135,518	7
Team Petrio	200,000	7
久重 natural チーム	169,500	6

※なお、公開審査会の内容の詳細は、令和 4 年 8 月発行の「こうちこどもファンド令和 4 年度審査会報告書」に掲載しております。

4 助成団体の活動

○助成活動期間：令和4年7月1日 ～ 令和5年2月28日

審査会において助成決定された7団体は、それぞれ次のような活動を行いました。

No.	団体名	活動テーマ	活動内容	こども代表者及びメンバー	大人サポーター 責任者
1	未来をかえ隊	川のゴミを見える化大作戦～みんなで知ろう ゴミについて～	○ゴミに対する意識を持ってもらうための鏡川緑地公園周辺の清掃活動 ○拾ったゴミを数値化したリーフレットの作成・配布によりゴミに対する意識啓発	竹嶋 万桜 国際中学校生徒 合計7名	責任者 伊芸 美紀
2	Mteens	マンネリから脱却！高校生中心の防災	○避難所運営体験（炊き出し訓練、簡易トイレの組み立てなど）の実施	石井 颯 丸の内高校生徒 合計5名	責任者 高岸 やよい
3	Diff é rent	地域との関わり×防災	○地域との関わりを重要視した防災イベントの実施	上田 こまち 国際中学校生徒他 合計8名	責任者 佐藤 恵子
4	旭っ子記者クラブ	旭小学校区の過去～現在を知って未来を考える	○ブログやチラシを使って旭地区の魅力や歴史を情報発信 ○自分たちで作った畑で地域交流や防災イベントの開催	小松 煌汰 高知工業高校・高知学園高校・旭小学校 合計18名	責任者 小松 ますみ
5	土佐女子おれんじflowers	アップサイクル×生理の貧困解決の手助けでもっと暮らしやすく！	○不要になった布などの手芸材料から雑貨を作製・販売 ○女性の生理の貧困の解決を目指し、活動の売り上げから生理用品を購入し、こども食堂等への寄附を行う	津野 七咲 土佐女子中学校・高校生徒 合計18名	責任者 下村 真知子
6	Team Petrio	～ペットに楽しい安全な未来を～	○保護犬・保護猫の現状や、譲渡会の情報を伝える広報ポスターの作成・ボランティア活動への参加 ○専門家へのインタビューを通して、理想のペットショップを考え、提案する	川村 華子 国際中学校生徒 合計3名	責任者 伊芸 美紀
7	久重naturalチーム	久重の里山の魅力再発見プロジェクト！①～SDGsで持続可能なまちづくり～	○川の学習（ホタル・魚釣り体験） ○災害時を想定した防災キャンプの実施 ○防災食に使える地域の山野草についての学習	竹嶋 万紗・武林 青澄 久重小学校・愛宕中学校・高知国際中学校・高知工業高校・追手前高校・土佐高校生徒 合計21名	責任者 武林 由希子

5 活動発表会・こうちこどもファンドフォーラム

活動発表会・こうちこどもファンドフォーラムスケジュール

開催日：令和5年3月18日（土）

会 場：総合あんしんセンター3階 大会議室

活動発表会

13:30 令和4年度助成団体活動発表会 開会

13:40～ 助成団体による活動成果発表（7団体発表）

○各団体3分～5分以内で活動成果を発表し、審査員と質疑応答・意見交換を実施
来場者の皆様は、団体の発表を聞いて「活動の良いと思う点」「団体へのメッセージ」などをふせんに記入

14:40～ 交流タイム（投票・休憩時間含む）（30分）

○活動団体に対する賞の投票（審査員・審査員OB・OG・活動団体）

○自由に活動団体と交流

来場者は、ブースを自由に回り、各団体へ活動してみた感想を聞いたり、成果物・模造紙を自由に観覧

※団体ごとにパネルを掲示し、書いたふせんを各団体のパネル貼りを実施

15:10～ 団体表彰

15:20～ こども審査員感想発表

15:25～ 審査委員長からの講評

15:30 閉会

15:30～ 記念撮影

こうちこどもファンドフォーラム

16:00～ 開会

16:10～ こどもファンド10年の取り組みと成果等の紹介

10年の取組をまとめた動画を上映します。

16:25～ わくわくトークタイム

これまで活動した活動団体や審査員を務めたこどもの皆さん、地域に大人の方々に活動してみた感想などを発表いただきます。

17:55～ 閉会挨拶

18:00～ 閉会

6 事業成果報告

NO	グループ名	活動テーマ	助成金額	ページ
1	Team Petrio	～ペットに楽しい安全な未来を～	43,040 円	8
2	土佐女子おれんじ flowers	アップサイクル×生理の貧困解決の 手助けでもっと暮らしやすく！	98,344 円	12
3	旭っ子記者クラブ	旭小学校区の過去～現在を知って 未来を考える	138,810 円	15
4	Différent	地域との関わり×防災	147,847 円	17
5	Mteens	マナーから脱却！高校生中心の防災	98,602 円	21
6	未来をかえ隊	川のゴミを見える化大作戦 ～みんなで知ろう ゴミについて～	118,471 円	24
7	久重 natural チーム	久重の里山の魅力再発見プロジェクト！① ～SDG s で持続可能なまちづくり～	158,802 円	27

発表 No. 1

Team Petrio

(1) 活動発表会について

令和5年3月18日(土)に助成団体活動発表会を開催しました。7つの助成団体が、自分たちが取り組んだ活動について、1グループ5分以内で発表を行いました。

助成が決定してから8か月間、学業やクラブ活動など、多忙なスケジュールを調整し、自分たちの住む「まち」をより良くしていきたいという思いで、活動してきた子どもたちの発表は頼もしく、大きく成長した姿を見ることができました。

Team Petrio

当初はペットショップの改革を目標に活動していましたが、活動の中で、ペットショップの販売方法以外にも様々な問題があることを知り、活動方針を「～ペットに楽しい安全な未来を～」から「～人と動物の共生～」に変換しました。自分たちで調べる「調査」、専門的な方に意見をもらう「深掘り」、広めていく「発信」の3つで進め、インタビューは高知市役所など計10団体、イベント参加を計4回、外部との話し合いを計2回行いました。2月には、ペットを飼ううえでの必要事項を記載したチェックリストの作成に取り掛かり、今までインタビューをした専門知識をお持ちの方々に見ていただきました。

このような活動を通して、私たちは今年度の高知県の児童生徒表彰のボランティア部門で表彰されました。動物のことを考えることは、私たちの未来がより快適になることにつながります。それを目指し、来年も活動していけたらなと考えています。





実はそれ…

避妊・去勢手術をした野良猫の証

なんです！

Trap → Neuter → Return

猫にもいいことが！

- ・病気になるにくくなる
- ・マーキングが減る
- 猫のストレスが少なくなる

繁殖しすぎの蛇口をSTOP!

TNR活動

No.1

「人と動物がお互いに気持ちよく過ごせる」

今年度の目標

「ペットショップ改革案」

↓

ペットを飼う際に意識すべき
チェック項目を作成

活動

動物と人間の共生について

調査 深掘り 発信

活動計画

6月~12月	1月~2月	2月~3月
調査 <small>・アニマルサポート高知家 ・小動物管理センター ・EVERSLINK ・アシストファーム南国</small>	項目内容作成 協議・改善 <small>ペットを飼う際の評価基準 作成（外部の方と協議し 内容も決定）</small>	ペットショップ 民間へ広報 <small>3000部くらい贈って 多くの人へ広める</small>

実行

イベントに参加 インタビュー 話し合い

こどもファンドの
助成が決定

6月 7月 8月 9月 10月 11月

12月 1月 2月

【インタビュー】
アニマルサポート 高知家・アシストファーム 薊野

1



活動を始めて最初のインタビュー
ここで現在の動物愛護の状況について初めて詳しく知った！

アポ取り&インタビューのノウハウを初めての経験から身につけた。調査の第一歩にふさわしく、貴重なお話を沢山伺うことができた。

【イベント/ワークショップ】
保護猫カフェの方・ブリーダー・保護活動団体

2



「犬と猫のしあわせの集い」という講演会に参加
現地の雰囲気を実感・経験UP！

参加&ワークショップ開催
保護猫カフェのオーナー・ブリーダーさん・しっぽシッターさんとコラボ。経験と繋がりを作ることができた。

【意見交換】
南国市ジュニア・リーダー・クラブ

3



南国市ジュニアリーダークラブの方から招待を受ける
ワークショップに参加！

外部の方とのディスカッション
中高生だからできることを、アイデアマップを使って考えた。ここで市外の方とも繋がりができた。

これらを踏まえ

2月は最終の成果物作成に
取り組んだ



今年度の成果がこちら



①チェック項目 ※項目の一部を抜粋

自分の意識

- 毎日、エサやトイレの世話ができる？
- 動物を飼って大丈夫な家に住んでいる？
- 家族の中にアレルギーがある人はいない？
- 雑毛の手入れ、爪切り、散歩などができる？

ペットショップに対して

- 販売された動物は健康で元気？
- 従業員に話しやすい？

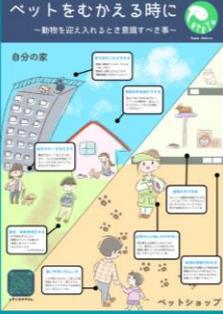
保護団体に対して

- 必要な費用をきちんと説明している？
- ワクチン接種ノと記録などをしている？



②ポスター

ペットをむかえる時に
—動物を迎入れるときは意識すべき事—



来年度の展望

地域猫活動・ポスター配布

まとめ

動物愛護→動物のためのもの
動物愛護→人間と動物のためのもの



ご清聴ありがとうございました😊



発表 No. 2

土佐女子おれんじ flowers

土佐女子おれんじflowers

学校内で生徒や先生が不要になった布やビーズ、毛糸、新聞紙などを提供していただき、さまざまな商品を作りました。特に夏休みを活用して、十分な数を用意しました。10月～1月まで計5回、イベントに出店しました。AceONEの中山社長の手配により、追加で3個生理用品をご寄附いただき、こども食堂6店舗へ20個ずつ寄附を行いました。

今年の活動で作成したパンフレットを通して、生理に関する正しい意識が広まっていると嬉しいです。

YouTube ↓



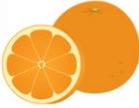
土佐女子おれんじflowers

土佐女子中学高等学校




今年度は、昨年度の予定通り子ども食堂へ生理用品を寄付するため、アップサイクルのハンドメイド品を販売して資金を集めました。

Q.アップサイクルとは...
A.不要なものに手を加えて元のものより価値を高めることです。




指輪 サニタリーポーチ アクセサリー



陶器のアクセサリ 箸置き ポーチ、髪留めなど

～今年の出店詳細～

活動日時	出店場所
10月16日	おびさんマルシェ
10月30日	緑地公園イベント
11月27日	日曜日
12月25日	日曜日
1月22日	日曜日

合計91,700円を売り上げました!!

～販売の様子～



日曜日での出店



鏡川緑地公園イベントでの出店

反省点

- ・学校の文化祭での出店の申請が遅く、販売できなかったこと
- ・割り振る時間を誤って物品づくりが遅れたこと
- ・メンバーの予定を合わせられず、活動の負担が一部に偏ったこと
- ・大人の協力を依存してしまったこと



報告

生理用ナプキンは...
私たちの活動で209個の生理用品を購入

+

追加で3個寄付していただき合計212個
子ども食堂6店舗へ約20個ずつ寄付完了
現時点で寄付できていないものも有



今後の方針

高校一年生が主となっているため来年の予定をはっきりとは決めていませんが、今年の反省を二の舞を演じないようにメンバーのことを考慮して無理のないスケジュール作りをしたうえで進めていきたいと思います



発表 No. 3

旭っ子記者クラブ

旭っ子記者クラブ

今年度は、「ふらっと旭」とコラボして「ハロウィン旭」と「クリスマス旭」を開催し、地域の人も大勢来てくれました。

「本宮川を取りもどす会」の清掃活動もお手伝いをしました。会長の大石さんと地域の方は『人の命も蛍の命も大事』と言って川を守っています。大変な活動だけど、川の掃除など、わたしたちにもできることがありました。

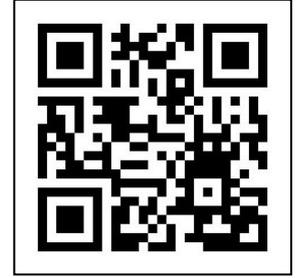
未来をかえ隊さんのスポGOMIにも参加して、ゴミ拾いを初めて「面白い!」と思いました。旭でもスポGOMIイベントを開催したいです。活動を通して、地域の人からたくさんのことを教わりました。また地域の方は、わたしたちに伝えることで『励まされた』と言ってくれます。これからも、地域の人とのつながりを大切にして、旭のためのイベントや活動を企画していきたいです。



取材報告動画は
こちら↓



活動発表会の発表
動画はこちら↓



発表 No. 4

Différent

Différent

私たちは今回の活動を通して、地域でコミュニティを形成することができました。

今年度は、そのコミュニティをより活性化すること、そして高知県は南海トラフ地震が来ると言われているため、防災意識を高めることを目的に、防災イベントを計画しました。

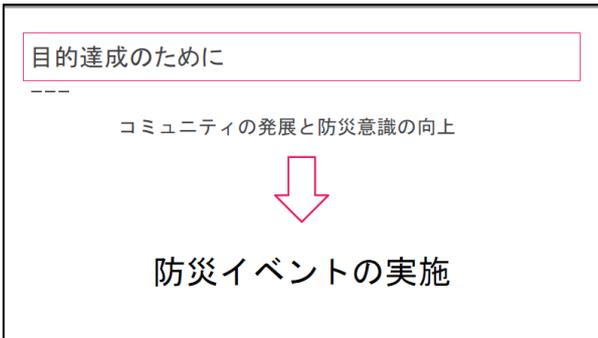
イベントを通して特に良かった点は、学校関係者以外の町内会の方など地域の関係者の方々にスタッフとしてお手伝いをいただいたり、他校である中村高校を招いた防災講演会、高知市の地域防災推進課の職員の方々とHUG（避難所運営）ゲームを開催するなどしてさまざまな方々とつながりを深められたことです。イベント参加者だけでなく、運営側のコミュニティを形成することができました。

来年度は後輩、企業、地域と「つながる」ことにこれまで以上に力を入れて活動をしていきたいと思っています。



Instagram ↓



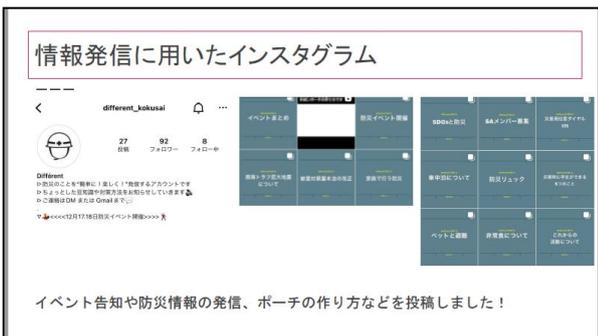


活動計画

活動日程	活動概要
6月19日	公開審査会
7月1日～	活動開始
7月～	協力団体の方との打ち合わせ
9月～	告知活動
10月下旬	イベントリハーサル
11月9日	イベント開催予定日①
11月10日	イベント開催予定日②
12月～	協力団体に対してのお礼状作成・配布
1月下旬	事業報告会に向けた準備

実施スケジュール

活動日程	活動概要
7月1日	Différentとしての活動開始
7月～	Instagramを用いた告知活動
9月	企業・町内会・学校へアポイント
10月	チラシ・ポスター印刷
11月	チラシ・ポスター配布
12月17日	「こくさい ぼうさい いらっさい」Day①
12月18日	「こくさい ぼうさい いらっさい」Day②
1月～	イベント報告リーフレット作成・報告会への準備
3月18日	事業報告会



イベント当日

12月17日・18日の二日間にわたって、防災イベントを開催

〈ブース内容〉

起震車体験・避難所運営（HUG）ゲーム

中村高校ミニ講演会・ゲームブース・学校探検・パネル展示





評価:良かった点

■学校関係者だけでなく、地域の町内会や他校、市の職員の方などさまざまな人と関わりを深めた

■イベント参加者のコミュニティに加えて、運営側のコミュニティも形成することができた

評価:改善点

■イベントの日程について
時期の検討、2日間に分けるかどうか、ブースの数などについて

■企業へのアプローチ方法
より積極的に企業への協賛依頼をする必要がある

■チーム内での役割分担・情報伝達
一部の人に役割が偏ったり、情報が全員に上手く伝わっていないことがあった

目的は 達成できたのか

- コミュニティの発展
- 防災意識の向上
- ▶達成できた

イベント参加者に加えて、運営側のコミュニティの形成もできた

HUGゲームや中村高校講演会など、学習ブースを作ったことで、防災を**学ぶ**ということも意識してもらえた

今後の展望

- 後輩育成
- 企業との連携を深める
- 災害募金

来年度は**繋がる**ことに意識をおいて、活動を行いたい
後輩と繋がる・企業と繋がる・地域と繋がる.....

国内外を問わず被災地への募金活動なども視野に入れている

協力団体

- ・高知国際高等学校
- ・津波サミット
- ・中村高校自主防災組織NDSD
- ・付属中所属掃除部
- ・こうち減災女子部
- ・周辺小中学校/商業施設
- ・市役所
- ・丸英製紙
- ・関株式会社
- ・インタレスト・プロダクション
- ・三昭紙業
- ・高知トップ教材

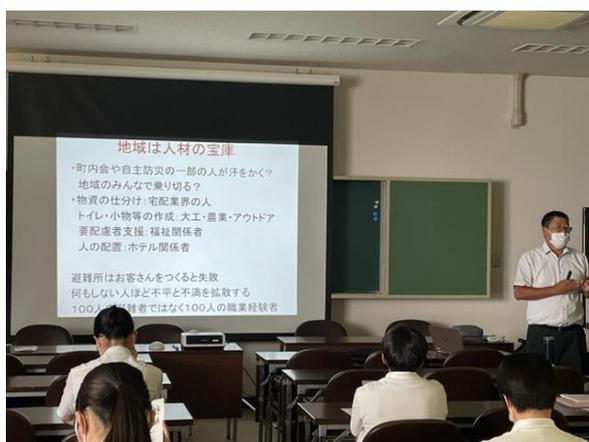
発表 No. 5

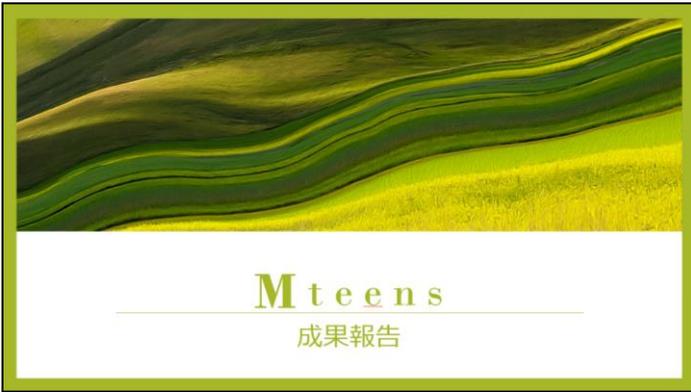
Mteens

Mteens

私たちMteensは、この1年間、高校生が中心となって防災意識の向上とマンネリ化からの脱却に向けて活動を行ってきました。8月と12月の2回に渡り、炊き出し活動を行いました。炊き出しでは、被災時に冷蔵庫や電子レンジなどの電化製品が使えない可能性を考えて、消費期限が短いものや、生物を使用したレシピを考えました。また、それぞれの炊き出し活動に併せて、「さんすい防災研究所」の山崎水紀夫さんに力を借りました。8月は被災現場に関する講演を開き、避難所での課題や、限りある物資をどのように分配するかについてお話いただき、12月は、参加者と一緒にHUG（避難所運営）ゲームを実施し、避難所を運営する際の課題について共有しました。

普段の学校の講演と違って、実際に避難所で支援を行ったことがある方の講演を聞いたことが、防災意識の向上につながりました。





炊き出し一回目 (2022/8/11)

メニュー

- ・野菜炒め
- ・春雨スープ
- ・おにぎり (梅みそ、おかか)
- ・フレンチトースト

市役所からいただいたアルファ米

反省・感想

- ・アルファ米が芯が残った感じで食べにくかったのもっと食べやすい工夫をするべきだと感じた。
- ・班活動をもっと取り入れる。
- ・ご飯の量が多かった。
- ・アルファ米の使用方法を学べた。
- ・講演より、実際の避難所の環境を想像することができた。
- ・地域の方々との日ごろからのかわりが大切だと思った。

炊き出し二回目(2022/12/18)

メニュー

- ・お茶漬け
- ・りっちゃんのサラダ
- ・五目卵焼き
- ・ベーコン入り味噌汁

HUG

避難所の運営を任せられた立場となり、学校に見立てた図面に家族構成、年齢、性別、職業、持病の有無など事情の異なる避難者カードを配置していく。

さまざまな事情を抱えた避難者が殺到する状をどう対処していくか、模擬体験をするゲームである。

避難者カードをその抱えている事情によって振り分けている様子

避難者カード

教室

体育館

グラウンド

反省・感想

- ・アルファ米をお茶漬けにしたことでかなり食べやすくなった。
- ・調理時間を長くとりすぎた。
- ・今回の活動を広報誌などにまとめるといい。
- ・HUGは難しいことが多くて、頭を使う場面が多く大変だった。だが実際に起こった時のことを考えると、分かりやすいかつ、とてもためになった。

発表 No. 6

未来をかえ隊

未来をかえ隊

私たちは、9月～11月にかけて、清掃活動とごみの分布調査活動を実施しました。ごみの分布調査を通して、どの場所を重点的に拾うべきかが分かりました。10月には、鏡川緑地公園イベントへ環境活動支援センターえこらぼさんとコラボして出店し、ゴミを分布したパネルを展示したり、次の清掃活動のイベントチラシの配布を行いました。2月には、高知大学スポーツ化組合の方々と「スポGOMI」イベントを実施し、チームで拾ったゴミの重さを勝負しました。このイベントでは、私たちの活動では過去最高の40人以上の地域の方やこどもファンドの他の活動団体からの参加がありました。

今年は、イベント開催までの準備に取り掛かるのが遅かったので毎回チラシを作成して参加の声掛けができていなかったのが、年度活動をする際は、広報の仕方を工夫していきたいと思っています。





未来をかえ隊



竹崎 羽方 梅原 大塚 菅原 片岡 山本

活動したこと

- ・清掃活動とごみの分布調査
- ・鏡川緑地公園イベント
- ・九重naturalチームとの情報交換会
- ・スポGOMIの開催

清掃活動とごみの分布調査

9月～11月

地域の人や高知大学のスポーツ化組合の人と一緒に清掃活動をし、たくさんの人との関わりができた。

どこにどんなゴミが何個落ちているのかを記録することでどこを重点的に清掃したらいいかを知る事ができた。



鏡川緑地公園イベント

10月30日

ブース出店をして、地図にごみの分布を記録したものや11月の清掃活動へチラシを配布した。

クリーンアップイベントにも参加した。



九重naturalチームとの情報交換会

1月22日

九重naturalチームと集まり、今まで行ってきたことの情報を共有し、どうしたらたくさんの人と繋がれるのか、なども話しながらお互いの活動を知ることができた。



スポGOMIの開催

2月12日

40人程地域の方々が参加し、九重naturalチームや子供審査員も参加していた。スポーツ化組合の人たちと一緒に清掃活動を楽しむため、チームでゴミの重さを競いあって清掃をしていった。そのため、各チームからたくさんのごみが集まった。



よかった点

・活動の反省点を次の活動に活かすことが出来た。

例)清掃活動をしたときに、参加者の方から「ゲーム性を取り入れると楽しめていいと思う」とアドバイスもらった

↓

ゲーム感覚で楽しくゴミを拾ってもらうことを目的にスポGOMIを開催することで参加者が過去最高の40人を更新

よかった点

・地域の方と協力して清掃活動をすることで、地域の方によりゴミに対する意識を感じてもらうことができた。

実際に、地域の人から「身近にゴミの量を感じられた」という声も上がった。



改善点

・具体的な計画を立てて活動できなかったため、チラシを配布するのが活動前ギリギリになったり準備するものが活動直前まで準備できてなかった。

・メンバー全員が話し合せて集まれる時間があまりなくて、全員の意見を取り入れた案を出せることが少なかった。



ご清聴ありがとうございました



発表 No. 7

久重 natural チーム

久重naturalチーム

『久重の里山の魅力 再発見プロジェクト！～SDGsで持続可能なまちづくり～』をテーマに3年計画の1年目に取り組んできたことを紹介します。

7月は、川の学習で「水生生物調査」と「魚釣り体験」を実施しました。

9月は、使っていない田んぼの景観を良くしようと、地域の方と、ヒマワリを植えました。

10月は、災害の時に大切な「トイレ」について、簡易トイレの処理剤は、どれだけ水を吸う力があるか実験をしました。

11月には、熊本大学の渡辺先生が久重の野草、「オニタビラコ」を使った軟膏の作り方を教えてくださいました。

12月には、災害の時にも使えるロープの使い方を習いました。

1月と2月には、未来をかえ隊さんと交流会を開催し、スポGOMIイベントにも参加しました。

月に一度、久重地域連携協議会が開催する「久重のまちづくり計画」策定会議に参加しました。地域の方と久重の未来について、もっと話したいと「こども・わかもの部会」をつくることにしました。これまでは地域の方に支えられてきましたが、これからは私たちが地域の方々とこどもたちをつなぐ架け橋となり、みんなで里山保全と久重のまちづくりに関わっていきます。

来年度は、地域の小学校で行う防災イベントに中・高生が参加して、小学生とつながる取り組みを計画しています。



7月  **ハイケボタル・・・**
ジメジメした田んぼにすむ



9月  **景観作物・・・** 
休んでいる田畑に花を
植えて景観を良くする



10月 簡易トイレ  



10月 防災ミニデイキャンプ  



11月 ハンドクリーム作り 
野草・・・オニタビラコ



12月 ロープワーク



1月・2月 交流会  



**「久重のまちづくり計画」
策定会議** 



こうちNPOアワード2022審査会



久重の魅力再発見プロジェクト
～SDGsで持続可能なまちづくり～



 **久重naturalチーム**

(2) 意見交換会での発表・質問について

各団体の発表を聞いている間に、他のグループは自分達の活動に活かせるようなアイデアを、参加者・審査員は各団体の発表や活動内容の良いところやメッセージをふせんに書いて、模造紙に貼り付けました。交流タイムでは、貼られたふせんの内容をもとに、質疑応答を行い、団体同士の交流を図りました。



Team Petrio ～参加者から出た意見～

○活動の良いと思う点

- ・自分たちが何をしたいのか、何をすべきなのか、客観的な目線で自分達を俯瞰できていることが素晴らしいと感じた。
- ・専門家の人達の意見を聞くことで、正しい知識や詳しい内容をたくさん知ることができ、その点がすごいと思いました。
- ・「人と動物が共生していく」というのがとてもいいなと思いました。動物の気持ちが分かることはすごく素敵だと思います。

○団体へのメッセージ

- ・自分たちでポスターを作成されて来年度への考えもしっかりと決まっていて、メンバー同士きちんと話し合っている事を感じられたのが良かったです。
- ・調べるだけでなく、知識を持った人や当事者に話を聞きに行ったり、外部の人に助言を積極的に求めている点が凄い！
- ・実際にインタビューを行うことで自分たちの意見をよく深められていると思った。段階的な活動ができてすごく良いと思った。

土佐女子おれんじ flowers ～参加者から出た意見～

○活動の良いと思う点

- ・自分たちで商品を作って販売した売り上げで、生理用品を購入するという発想が素晴らしいと思いました！
- ・不要な物に価値を付けて素敵な物を作り上げるという発想が素晴らしいと思いました。
- ・雑貨が可愛いです。去年より学年を超えた活動でメンバーが増えている点もすごいと思いました。

○団体へのメッセージ

- ・日曜市やおびさんマルシェに出店したことで、地域での認知度も高まったと思います。ぜひ来年以降もこれまでできたつながりを活用して、活動を展開してってください。
- ・地域のイベントにも積極的に出店していて、それに合わせての物づくりもすごく大変だったと思います。お疲れ様でした。
- ・学生の皆さんが、「生理」について発信してくださることで、もっと社会の中で理解が深まっていくとうれしいです。今後も頑張ってください。

旭っ子記者クラブ～参加者から出た意見～

○活動の良いと思う点

- ・劇のようなプレゼンテーションが聞き手にとって良い印象だった。
- ・地域の人と協力して清掃活動を行うことで、地域活性化がはかれていた。楽しく活動ができるところが良かったです。
- ・何より、子どもたちが楽しそうにやっているのがいいですね！小・中・高での協力、そして質問の際に行っていた子どもと大人の連携が良いです。

○団体へのメッセージ

- ・情報誌、ブログ、SNS など様々な形で旭を発信していて素晴らしいですね！発表の動画もどれもクオリティが高いですね。
- ・本宮川の生き物が人間の都合で振り回されていることをはじめて知りました。本当にひどい話ですね。応援しています。来年度も頑張ってください☆
- ・上から目線で取材をするだけでなく、町に入り交流するというスタイルに感動しました。子どもたちがまちを取材することがこんなにも意味があるのですね。

Différent～参加者から出た意見～

○活動の良いと思う点

- ・ゲーム要素を加えることで、楽しみながら防災について知ることができるのがいいと思いました。
- ・昨年度に築いたコミュニティを使って活動していたことがいい点だと思った。
- ・情報の発信がチラシにとどまらず、SNSを使っている点がいいと思いました。自分たちの広報の参考になりました。

○団体へのメッセージ

- ・企業との連携・協働は今後とも期待できる大切な取り組みですね！今後、こどもファンドが終了しても継続するために、来年度へ向けてつながりを大切にしようという視点は素晴らしい！頑張ってください！
- ・こんなに大きなイベントを自分たちですべて運営し、協力してもらったり、タイムスケジュールやブースも考えて、高校生のパワー以前に、一人ひとりのパワーが素晴らしいです。
- ・地域の方との「コミュニケーション＝防災意識を高める」という考え方が素敵です。「共助」の大切さがすごく伝わります。

Mteens～参加者から出た意見～

○活動の良いと思う点

- ・1回目の改善点を活かし、2回目のレシピを考えているのが良いと思いました。
- ・2回目のレシピを考えているのが良いと思いました。

- ・講演をしていただくというのは、たくさんの方が聞き、防災への意識が少しでも向いてくれると思うのでとても良いイベントだなと感じました。
- ・パワーポイントが分かりやすかったです。炊き出しのメニューにフレンチトーストがあったのに驚きました！避難所での食べ物のイメージが大きく変わりました。

○団体へのメッセージ

- ・高知を良くするということがもっと伝わればいいなと思いました。
- ・防災のイベントに対するイメージが「まじめそう・・・」から「楽しそう！」に変わりました。次も頑張ってください。
- ・同じ防災の取り組みをしているため、機会があれば、一緒に活動してみたいなと思いました。

未来をかえ隊～参加者から出た意見～

○活動の良いと思う点

- ・昨年度の活動を踏まえて活動している点。ゴミを拾うだけでなく、それを地図に分布して分析をしたうえで、地域に伝える努力をしている。
- ・スポGOMIがとても楽しそう。ぜひ来年の開催があれば参加してみたい。
- ・自分達だけで清掃活動をするのではなく、地域のイベントにも積極的に参加し、地域に関わろうとしている点が素晴らしいと思いました。

○団体へのメッセージ

- ・鏡川緑地公園イベントへの出店など、今年は昨年以上に活動がレベルアップしている。今後の活動が楽しみです。
- ・高知大学の学生とコラボしてスポGOMIを開催し、地域の方の参加だけでなく、こどもファン活動団体のこどもの参加もあるなど、多くの参加があったことは大変素晴らしいと思いました。
- ・落ちているゴミもタバコが多かったということで、若い皆さんではなく大人の意識を変えていく必要があると思いました。

久重 natural チーム～参加者から出た意見～

○活動の良いと思う点

- ・ハンドクリーム作りからリーフレット作成まで、活動の幅が広くてアイデア性もあってすごい良いなと思った。
- ・SDGsにも関連したテーマの発想が素敵だなと思いました。キャンプなど実際に体験する行動力にも驚きました。
- ・まちづくり計画に若者・こどもチームを作ったのがすばらしい！これからの活動が楽しみです。頑張ってくださいね。

○団体へのメッセージ

- ・小学生から高校生まで大人数で活動しているのが素敵でした。久重 natural チームのみなさんは毎回発表の際、台本を読まないのが尊敬します。
- ・自然の中でたくさんの活動を行っており、他にはまねできない事ばかりです。これからも続けて頑張ってください。すてきな取り組みです。応援しています。
- ・来年もつながる人の幅を一定の人だけでなく、年齢層を増やして頑張ってください。

(4) 団体表彰

令和4年度活動発表会では、以下の賞を決定し、表彰しました。

＼ 令和4年度は、こども審査員OB・OGの方々に表彰内容・表彰名を決めていただきました！ /

○ベストこどもファンダ賞

第11期こども審査員(8名)の投票による表彰



久重 natural チーム



【山本稜平委員より選んだ理由】

自分たちが体験するだけでなく、それをさらに地域の方や地域外の方に向けて発信していこうという気持ちが伝わりました。予算書のところと確定された実績を見て、当初の予定からオーバーすることなく使われているところも見て素晴らしいと思い、選ばせていただきました。



Différent



【青木晴楓委員より選んだ理由】

私も実際にイベントに参加したのですが、イベントで8つのブースを展開して、さまざまなブースで楽しめるようにしていたこと、またコミュニティの要素としてInstagramなどさまざまなSNSで展開していたこと、これから先を見据えたビジョンまでされていたことから選ばせていただきました。

○ベストライバル賞

令和4年度活動団体から活動団体への投票による表彰



久重 natural チーム



【Mteens より選んだ理由】

毎月活動をされていた点と、その中でもSDGsに着目して活動されていた点が素晴らしいと思います、選ばせていただきました。

○若い力を感じるで賞

大人審査員（7名）と子ども審査員OB・OG（7名）
の投票による表彰



旭っ子記者クラブ



【森本向日葵さん（子ども審査員OB）から選んだ理由】

今回、私は6月の審査会には参加できていなかったのですが皆さんどんな活動をされていたんだろうと思いながら見させていただきました。その中でも、旭っ子記者クラブの皆さんの活動がとても工夫されているなと思いましたし、プレゼンテーションも面白かったので選ばせていただきました。

(5) 子ども審査員からの感想発表

第11期子ども審査員の皆さんを代表して、増田光祥委員に子ども審査員を経験してみてもの感想や、応募団体のプレゼンを聞いて審査した感想などを発表してもらいました。

○増田光祥委員

活動団体の皆さま、本日はプレゼンテーションお疲れさまでした。

今年度も、新型コロナウイルスによる大きな制約があった中での活動だったと思いますが、各団体の一つ一つの活動からは、地域の魅力であったり、工夫や個性、様々な魅力が多く伝わってきました。来年度は少しずつ、新型コロナウイルスの影響が少なくなってくると思いますので、新型コロナウイルス禍でできなかった活動にもぜひ取り組んでいただきたいと思います。1年間、本当にお疲れ様でした。



(6) 岡崎市長 挨拶

皆さん、こんにちは。

すごく熱のこもったそれぞれの発表をいただきまして、ありがとうございました。このあとうちこどもファンド10年の振り返りと、今後の10年を見据えてのこどもファンドフォーラムがあります。こどもファンドの今後の10年を考える委員会を、現在、卯月先生はじめ関係の方々を含めて立ち上げております。

今日も、関係者の皆さまやサポーターの方々など、本当にたくさんの方にお越し頂いております。

そして、これから楽しみなのはこども審査員を卒業された皆さんです。今日も司会をされていますけれども、だんだんとOB・OGの皆さんが成長していることを肌を感じてうれしく思っています。今年度、審査員をやってくださっている竹崎千紘さんも高校3年生ということで、今年が最後の審査員ですので、今後の活躍を期待しています。

それから団体の方は、久重 natural チームと、旭っ子記者クラブは、素晴らしいパンフレットができています。それから、昨年度より引き続き活動されている未来をかえ隊、Différent、そして今年度より活動されている Mteens、Team Petrio、土佐女子おれんじ flowers の方々に大変様々な角度から発表いただきました。ありがとうございました。

こどもファンドも11年目を迎えて、非常に県外からも注目をされています。今日も傍聴席に、たくさんの県外の方がきてくださっています。

見学にお越しくださる皆さんが、異口同音に言われているのは、こどもが動くと、大人が動くということです。まさにそれを狙いに、こどもファンドを立ち上げていますが、それは団体のこどもたちだけでなく、審査員も同じです。プレゼン発表の機会があるかないかだけの違いで、質疑応答で発表すると今日みたいなすごい発表をしてくれます。こどもがやるなら、じゃあこれを我々大人がやってみようかとなっていくのが、こどもファンドです。皆さんの取組が実際にまちづくりに広がっていきますし、このこどもファンドの取組が、全国に広がっていけば良いまちづくりが広がっていくと思っています。

このあと、11年目を迎えてのフォーラムをやりますので、ぜひ見て行っていただければと思います。今日は、本当にありがとうございます。



(7) 卯月審査委員長 講評

いつも講評と言われるのですが、さきほどの増田委員で締められたほうが、こどもファンドの発表会にふさわしいような、もう私からの講評はいらないような気がしますので、次回から検討しましょう。とはいえ、今日の講評を私の方からも、少ししたいと思います。

今日は、素晴らしかったですね。会場全体の雰囲気もですが、やっぱり進行も審査員OB・OGというところが、なんかこども



の発表会を少し先輩のこどもたち、あるいは OB・OG が進行して、それを大人が脇で支えているという、その構造が素晴らしかったと思いますし、この構造がまさに、今の社会に求められているような気がします。

それから、今年から変わったこととして、これまで賞の名称は、大人が決めて、それを会場の方が投票して決めていたのですが、それをこども審査員 OB・OG で話して、活動したこどもたち、こども審査員、大人審査員とこども審査員の OB・OG で選ぼうと変えました。言うのは簡単ですが、それが上手く決まるのかと、正直なところ心配していました。実際は感心することばかりで、ベストライバル賞という名称がググッと来ました。団体同士はライバルだけど、あそこが1番良かった！次はあそこを超えるぞ！という姿勢がその言葉に込められている。今日司会進行をされている OB・OG の方々が、こういうふうに学んでいくのだな、これまでの経験がこういう言葉や、新しい発想を生んでいくのだなと本当に勉強になりました。

もう1つは、3つの賞を選定した理由を即興で発表してもらおうと決めていたことです。表彰するのに理由を言わないのはどうか、という話になって理由を言うてもらうことにしました。どこの団体が表彰されるか分からない中で、聞いていて一人ひとりが本当に素晴らしい選定理由だったなと思いました。僕ら（大人審査員）がこれまで仕事ができなかったのではないかとちょっと反省して、身が引き締まる思いでした。

少し感想を申し上げますと、まちづくりには楽しさやゲーム性が必要ということが頭に残りました。これは、スポ GOMI をやった未来を変え隊ですね。それに、久重 natural チームも参加してもらいながらやったということで。私もまちづくりの事業を色々やってはいるのですが、僕が楽しさやゲーム性って言っても、ピンと来ないとは思うのですが、こどもがそれを言うと、またスポ GOMI という具体性があると、とっても上手く伝わっているなと思ったことです。

それと、土佐女子おれんじ flowers ですね。もともとは、こどもファンドに、こんな活動があるのかと思っていたのですが、資金をもとに、生理用品を購入して配るということではなく、学校で集めた用品をアクセサリなどに加工して、そして、それを言葉が悪いかもしれないけれど商品化して、地域で売って、その売り上げでこども食堂などに生理用品を配るという。そこにすごく工夫があって、大人が考えると配布することが目的だから資金で買ってそれを回してあげればいいじゃないかと、少し短絡的になります。でも、この団体にはそこにひと工夫があり、これにはかなり市役所の方からも、こういう方法があるかもしれないと相談に乗ったことも聞いていますが、9万円もの売り上げをあげるという。これは、日本の中でもまちづくりを広げるための、1つの「手法」であるなと思ったことです。

あともう1つは、久重 natural チームのこどもたちが、大人たちの地域内連携協議会へこどもたちが参加する。どこのまちでもそうですけど、まちづくりっていうと比較的高齢の方が多くて、なかなかこどもたちや若い意見をもらうことができないと思うのですが、夜の会議に参加して、「久重 Youth」という部会ができたことが素晴らしい展開ですよ。先ほど市長も言われていましたが、こどもファンドを10年以上やる中で、こどもの活動が大人を変え、地域を変える素晴らしい活動になっています。本日はプレゼンテーションが上手かったと思いますが、ただこうしましたという報告だけでなく反省点や、来年はこうしたいなど、大人サポーターがしっかりされていて、活動報告にも工夫があったのだろうと思います。

本日の10年のこどもファンドは、非常に完成された姿であったと思われました。本日は、どうもありがとうございました。

7 令和4年度高知市子どもまちづくり基金実績

こうちこどもファンドは、平成24年度に創設した「高知市子どもまちづくり基金」を原資に運営しております。制度を長期に渡り継続していくためには、少しでも多くの企業・団体・個人の皆さま方から、こうちこどもファンド制度の趣旨に対してご賛同をいただき、寄附金という形でご支援をいただくことが必要です。未来のまちづくりを担うこどもたちを社会全体で支援し、その温かい支援や協力をこどもたちが感じながら活動していく中で、こどもたちは「夢の実現」だけではない、たくさんの学びや成長を得ることができると考えています。

令和4年度には、**54件**の企業・団体・個人の方から**1,371,214円**のご寄附をいただきました（募金箱への寄附を除く）。

このこうちこどもファンドが安定した運営をしていけるように、今後ともご支援をいただければ幸いです。寄附をいただいた皆様のご芳名は、巻末に掲載している一覧をご覧ください。

＼ ご寄附いただいた皆さま、ありがとうございました！ ／



8 今後に向けて

「こうちこどもファンド」は、こどもたちの「自分たちのまちを良くしたい」という想いを形にするために、こどもたちが行うまちづくり活動に対して支援することで、こどもにやさしいまちの実現や、高知の将来を支える人材づくりを目指しています。

毎年こどもたちから意欲的なまちづくりの提案があることを嬉しく思う一方、これからまちづくり活動を行いたいと考えているこどもたちやサポートする大人にとって、どのようにすればより応募しやすく、活用しやすい制度になるのかを考えながら、まだまだ改善していく必要があります。

また、このこうちこどもファンドを知らない市民の方がまだまだいらっしゃいますので、より皆さんに知っていただくために広報手段も工夫していかなくてはなりません。

令和4年度は、1月～3月の計4回、「読もっかこども高知新聞」のコーナーで特集記事を掲載していただきましたが、今後も引き続き新聞・テレビ等のメディアでこどもファンドを取り上げていただけるよう、広報を強化していく必要があると感じています。そのためにも、活動意欲があるこどもたちの声を拾い、掘り起こし、応募に繋げていく仕組みを検討していき、もっとこの制度を周知していきたいと考えています。

こどもたち自身が取り組みたい活動を申請し、審査をするのもこどもたちという「こうちこどもファンド」の仕組みは、全国でも先駆的な取り組みです。こどもたちが高知市のまちづくりに興味を持つきっかけとなり、小さい頃から自分たちが住む地域のことに関心を持ち活動することが、大人になっても地域活動に参加することに繋がり、誰もが住みやすいまちづくりへと続いていけばと考えています。

令和4年度は、「こうちこどもファンド」がスタートして11年目になり、次の10年に向けてのスタートを切りました。この11年間で、助成件数延べ78件、約2,000名（活動の重複者を含む）のこどもたちにより、防災、環境活動、地域食材を活かしたレシピづくり、農作業など、様々な活動が行われてきました。こどもたちの活動に協力する周りの大人たちにも、まちづくりに対する意識が芽生え、こどもたちの活動が地域全体に広がっていく様子も見られています。

同じく次の10年のスタートとして、令和3年度から「まちづくり活動検討委員会」に今後の在り方を諮問し、検討結果を答申いただきましたので、これまでの成果をふまえ、これからのこうちこどもファンドがさらに発展していくよう、検討してまいります。

これまでこども審査員を経験された皆さんや、活動された団体の皆さん、大人サポーターの皆さん、ご寄附をいただいた方々など、こどもファンドに関わってくださっている方のご意見をいただきながら、今後も子どもに優しいまち高知市の実現を目指して、まちづくりをさらに発展させていきたいと考えておりますので、今後とも「こうちこどもファンド」のご支援をよろしくお願いいたします。





こうちこどもファンド

～これまでの10年とコシカラ～

高知市まちづくり活動検討委員会答申書〈概要版〉

答申書
全編↓



YouTube

高知とさじゅく
広報部の動画は
こちらから→



制度開始から10周年を迎えたこうちこどもファンド。
高知市では、令和4年2月に高知市まちづくり活動検討委員会を立ち上げ、こどもファンドが「こどもの成長」や「地域、周りの大人にどのような影響を与えたのか」などの成果を検証するため、活動したこどもたちやこども審査員及びその家族、大人サポーターや寄附者、市民の方々にインタビューやアンケート調査を行い、こどもファンドの10年の取組や成果、今後のに向けた「7つの提言」を1冊の冊子にまとめました。

～10年の成果～

※詳細は4Pアンケート結果参照

「『こども』が育っている」

これまで活動したこどもたちは延べ1,868名。

活動前後の気持ちの変化は…

- ★「まちのために役に立ちたい」
→地域への愛着心の形成
- ★「ニュースに関心をもつようになった」
→地域や社会への問題意識の高まり
- ★「自発的に行動できるようになった」
→自主性・主体性・積極性の高まり
- ★「大人と話すのは楽しい」
→コミュニケーション能力のUP

など

審査員・活動をした子どもたちの成長に大きくプラスの影響があることが分かりました！

「こどものチカラ」が「地域のチカラ」に

これまで活動に関わった大人サポーターは延べ321名。

こどもと活動したことで…

- ★「地域の人が気軽に声をかけてくれるようになった」
- ★「地域の催しに参加して欲しいという声かけが増えてきた」
- ★「こどもと一緒に考える機運が高まった」
- ★「これまで知らなかった方と知り合いになれた」

など

大人も地域とのつながり・こどもの関係性の変化が見られました！

市担当者の意識の変化

- ★「こどもたちの活動の様子や、寄附をいただいた企業の取り組み等の情報にアンテナを張るようになった」
 - ★「市民目線、こども目線での事業企画や運営に役立っている」
- など
→こどもファンドを担当した市職員にも意識変化が見られています！

他縣市町村からの注目の高まり

こどもファンドは市の取組で視察件数が最も多い事業です。10年間での視察は52件！

- ★R1～宮城県名取市で「なとりこどもファンド」
 - ★R4～から、神奈川県茅ヶ崎市で「ちがさき・さむかわこどもファンド」がはじまる
- など
他都市への影響や広がりが見られています！

今後に向けた

提言① もっともっと応募を

もっとたくさんの人に
こどもファンドを広めよう～!



*こどもの感性に響く、伝わりやすい広報物の作成・発信

・応募募集チラシやパンフレット等を作成する際、こどもが見て応募したくなるような表現やレイアウトの工夫をしましょう。

*学校・地域等へのこどもファンド出前講座の実施

・学校や地域等への出前講座をすることで新たな応募団体の確保につながる働きかけや地域別・学校別のニーズの掘り起こしを行いましょう。

*応募しやすさのUP

・応募手続きマニュアルの作成等、学校の担当者の負担を減らし、応募しやすくなるような方法を検討しましょう。

提言② 誰でもわかる「こうちこどもファンド」に

こどもファンドのHPやCMなども
作れるといいな!



*広報活動の充実・工夫

・新聞掲載(広告)やテレビスポットCM、SNSの活用など、様々な媒体を駆使して広報活動の拡充を図りましょう。

*こどもファンド10年の取組をまとめた図書出版、映像化

・高知のこどもたちのまちづくりの教材・マニュアルとしてや、「こうちこどもファンド」の取組を全国各地で知ってもらうものとして図書の出版や映像作成をしましょう。

*こうちこどもファンドのPR用ののぼり旗等、広報用グッズの作成・貸し出し

・こうちこどもファンドをPRできるような各種グッズを作成し、活動団体に使用してもらうことで、団体自身の活動に併せて、こどもファンドの広報を図りましょう。

提言③ 幅広く対応できるアドバイザーチームを

活動中のささいな悩み事や活動をパワーアップさせていくために、たくさんの大人の方に相談できるといいな!



*さまざまなニーズに対応可能な「アドバイザーチーム」をつくる

・応募についての相談や活動中に出てきた悩みなど、こどもたちの活動内容に即したきめ細やかなアドバイス体制を構築することで、より地域や企業、事業者を巻き込んだ活動になることが期待できます。(例、活動に協力してくれる企業とのマッチングアドバイザーチーム)

提言④ こどもたちの応援団のパワーアップを

*こうちこどもファンド経験者OB・OGが継続してファンドに関わってもらえるしくみづくり

・活動団体や審査員としてこうちこどもファンドに関わったOBやOGが、活動団体に助言・支援できたり、公開審査会・活動発表会にスタッフとして参加してもらえるようなしくみづくりを検討しましょう。

*こども主体による審査会・活動発表会の運営

・会の進行・発表・審査など、こどもたちが主体となって運営するしくみづくりを検討しましょう。

先輩が後輩に教えたり、
支え合ったり交流できる
“つながりの場”をつくろう!



「7つの提言」

提言⑤ 「チーム・こうちこどもファンド」としての動きへ

こうちこどもファンドへ関わる人みんなで力を合わせ、「チーム・こうちこどもファンド」として、こどもファンドを盛り上げていきましょう。

学校や年齢を超えたつながりができると輪が広がってお互いに学びあえるなあ♪



*こども審査員が活動団体の活動を見学・参加できるしくみ

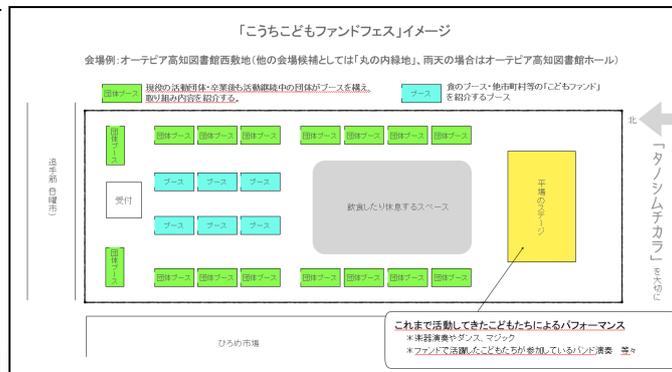
審査員は、現場を見たとえで審査のポイントが考えられる等、視野を広げることができます。

*こども審査員と大人審査員の交流

こども審査員が大人審査員に気軽に相談できるような関係づくりを目指しましょう。

*活動団体間の交流

年度ごとに活動団体やこども審査員等が楽しく交流できる機会(例えば、「こうちこどもファンドフェス」の開催等)を設けましょう。



提言⑥ 寄附者とのより広く、より深い関係づくりを

企業のみなさんにも、もっと知ってもらえる広報の工夫をしよう!



*寄附希望者への周知方法の工夫

「こどもたちの活動を応援したい」と思っている、より多くの人々にこうちこどもファンドを知ってもらうための広報や幅広い寄附の方法を検討しましょう。(クラウドファンディング等)

*寄附者との関係性を深める工夫

寄附をいただいた方には、活動団体からの直筆のお手紙や、動画、事業報告書のほか、活動の中で作成したパンフレット等の「成果物」をお送りするなど、関係性を深めるための工夫しましょう。

*寄附金の使い道の拡大

直接的な活動助成金以外に、市の予算措置では速やかに対応しづらいこどもたちの幅広い活動を支援するための資金として有効に使えるよう検討しましょう。

(例)「こうちこどもファンドフェス」にかかわる費用・こうちこどもファンド関連グッズの作成、新聞掲載のための広告費、CM制作費・広報業務の委託

提言⑦ 「こども・わかもの」を次の舞台へ

これまでこうちこどもファンドで活動してきたこどもたちは、地域や高知に対する見方が変わるなど、大きく成長してきています。今後は、「高知のために何かしたい」と思ったこどもたち及び18歳を超えたわかものたちを、継続して応援できる受け皿として、次のようなしくみづくりを検討しましょう。

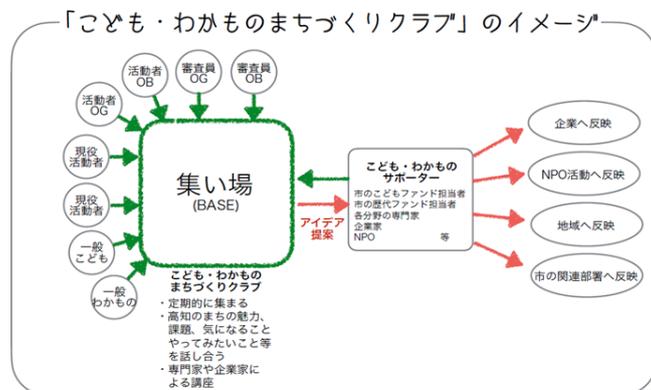
* (仮称)こども審査員OB・OG会の立ち上げ

* (地区別)こどもまちづくり協議会の設置

* こども・わかもの審議会を設置

* (仮称)こども・わかものまちづくりクラブの立ち上げ

活動して成長してきたこども・わかものが「高知のまちづくり」を話し合える場所を作ろう! /



「こども・わかもの審議会」の設置へ

高知市まちづくり活動検討委員会 アンケート結果(一部抜粋)



◎活動したこどもたち

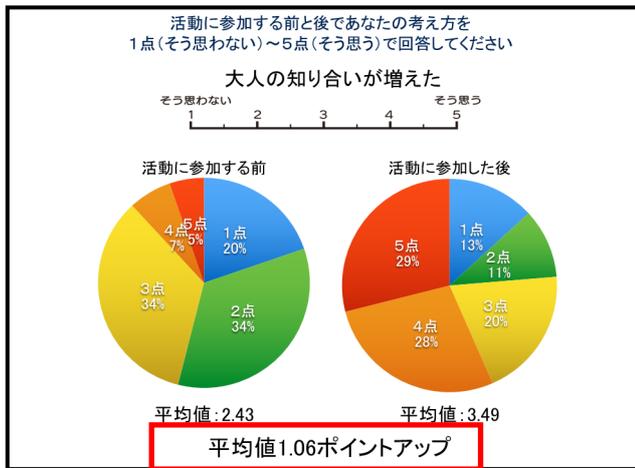
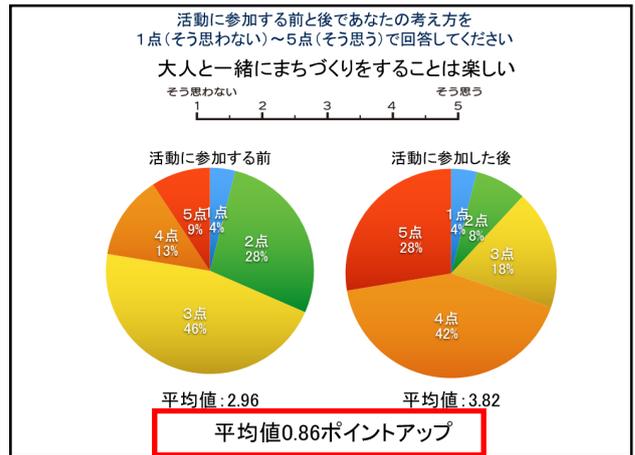
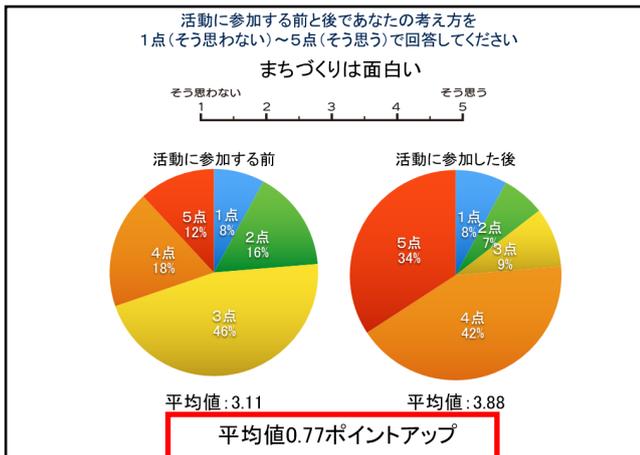
活動したこどもたち216名を対象にアンケートを実施し、76名の回答があったうちの「活動して良かったか」の設問に対し、全員から「はい」と回答がありました。



活動の前後の意識変化を
数値で回答いただいたところ…

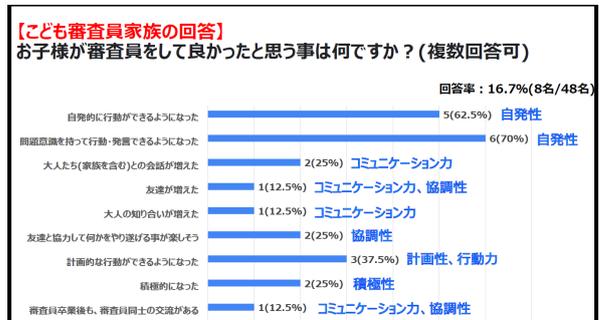


いくつかの質問項目に対して
成長を感じる意識の変化がみられました！

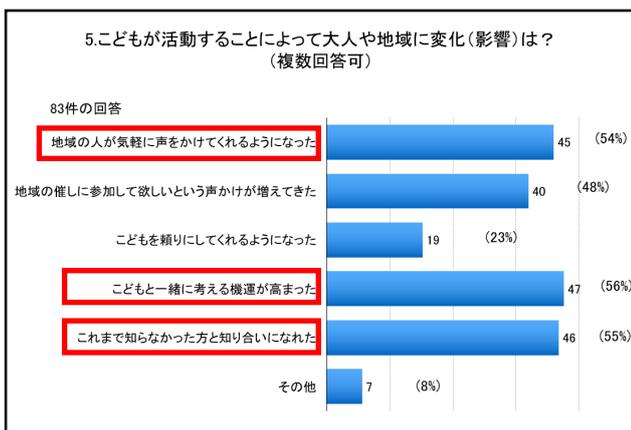


◎こども審査員及びその家族

こども審査員の保護者からも、こどもの自発性や
積極性の成長を評価する声が多数ありました！



◎活動したこどもたちの家族・大人サポーター



地域とこども・大人とこどもの関係性の変化

こどもの活動を支援する大人サポーター272名を対象に実施し、83名の回答があったうち、約半数の方が「地域の人気軽に声をかけてくれるようになった」「子どもと一緒に考える機運が高まった」と回答しており、こどもたちの活動に関わることで、大人も地域やこどもとの関係性の変化が変化していることが分かりました。

発行日: 令和5年3月18日

発行者: 高知市地域コミュニティ推進課